



と く
＼ みんなで取り組もう！

と き が わ し ょ う な い が わ
土岐川・庄内川の

り ゅ う い き ち す い
流域治水

じ ょ う り ゅ う い き へ ん
上流域編



年

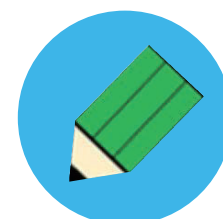
組

なまえ

目次

1	わたしたちの土岐川・庄内川流域 1
(1)	土岐川・庄内川ってどんなところ? 1
(2)	「流域」ってなに? 5
(3)	土岐川・庄内川上流域の特徴 7
2	水害時における危険 10
(1)	昭和47年7月豪雨ではどんなことがあった? 10
(2)	この地域ではどんな水害に気を付けたらいいの? ... 17
3	水害時にわたしたちがとるべき行動 20
(1)	水害がおこるまでの身の周りの変化 20
(2)	おうちの人と調べてみよう 23
4	みんなで取り組む水害へのそなえ 32
(1)	みんなで取り組む「流域治水」 32
(2)	地域の人との助け合い 37

この本の見方



ことば いみ
言葉の意味を
し
知ろう

そのページで学ぶ言葉の意味を説明しています。



かんが
考えてみよう

じぶん
自分で、あるいはおうちの人と
ひと かんが
考えてみましょう。



し
もっと知ろう

じゅぎょう まな
授業で学ぶことに関係することを
かんけい と あ
取り上げて
よ
います。時間があるときに読んでみましょう。



1

と き が わ し ょ う ない が わ り ゅ う い き わたしたちの土岐川・庄内川流域

かんが
考えてみよう



みなさんは川へ遊びに行ったことはありますか。
川はどのようなことに利用されているでしょうか。

(1) 土岐川・庄内川ってどんなところ？

土岐川・庄内川は、岐阜県恵那市の夕立山から流れはじめ、岐阜県内の盆地を流れ、愛知県の平野を流れて伊勢湾に流れこみます。

庄内川は、昔は、流れている場所の地名でそれぞれ呼ばれていました。明治時代に名前を統一して「庄内川」となったようですが、今でも、岐阜県内では、「土岐川」と呼ばれています。

川の周辺には、下流域に名古屋市や春日井市や瀬戸市、中流域に多治見市など、たくさんの人や企業などが集まる地域が多くあります。



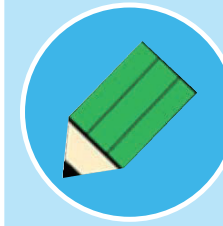
川の周りにはいろいろな町があるね。

土岐川・庄内川流域は新幹線が通っていて、東京や大阪などの他の大きな町をつなぐ地域でもあるね。





ことば いみ し
言葉の意味を知ろう



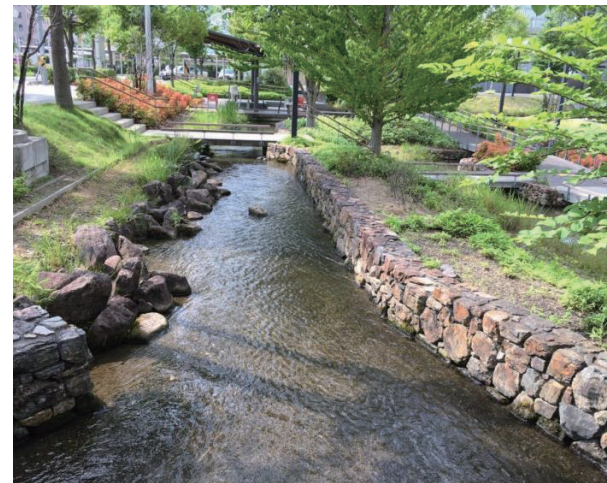
じょうやくしつち
ラムサール条約湿地

「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）」の締約国が指定し、管理する湿地



参考：環境省 ラムサール条約と条約湿地 <https://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/index.html>

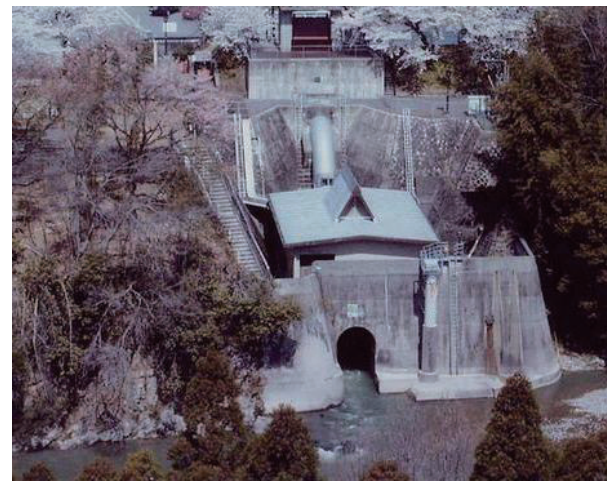
土岐川・庄内川は、地域によってさまざまな利用をされています。
古くから農業や工場などで水を利用しているほか、中・上流域の水力発電所では電気を作るために水が使われています。
公園や花火・お祭り・水遊び・自然観察場として利用されるほか、生きものにとっての大切なすみかにもなっています。
とくに河口の藤前干潟は、水鳥であるシギ・チドリ類が渡ってくる日本最大級の重要な湿地で、ラムサール条約湿地に登録されています。



こけいようすいひろば たじみし
虎溪用水広場(多治見市)
出典：虎溪用水広場ホームページ



おりがわ えなし みずなみし
小里川ダム(恵那市・瑞浪市)



たまのすいりよくはつでんじょ かすがいし
玉野水力発電所(春日井市)
出典：春日井市ホームページ



しょうないようすいとうしゅこう なごやし
庄内用水頭首工(名古屋市)



おりべ ときし
織部まつり(土岐市)
出典：土岐市



しぜんかんさつ かすがいし
自然観察(春日井市)



しょうないりよくちこうえん なごやし
庄内緑地公園(名古屋市)
出典：庄内緑地グリーンプラザ



ふじまえひがた なごやし
藤前干潟(名古屋市)
出典：名古屋市ホームページ

土岐川・庄内川はわたしたちの生活や生き物に豊かな恵みをあたえているんだね。
わたしたちの学校や家の近くでは、どのような景色がみられるかな。





(2) 「流域」ってなに？

地上に降った雨や雪は、地中にしみこんだり、水路や小さい川などに流れこみ、やがて大きな川に集まって、海へ流れていきます。

海や川などの水面で温められた水は空にのぼって雲になり、また雨や雪となって地上にふることを繰り返しています。このことを「水循環」といいます。



出典：政府広報オンライン
(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201507/4.html>)



4年生の理科で勉強する「天気」や、社会で勉強する「飲み水」や「下水道」などにも関係しているよ。

また、川に関係する地域として、洪水で川からあふれた水が到達する可能性がある地域を、「流域」に含む場合もあります。

「流域」は、「県」や「市」などの境界をこえた、「その川に関わる地域全体」のことなのです。

「土岐川・庄内川流域」は、愛知県と岐阜県にまたがる、1,010 km²にもおよぶ広さの地域を指します。



「流域」のイメージ
出典：水害に関するワンポイント（令和4年3月改訂版）/国土交通省
(<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/guide.html>)

「流域」は、海まで続く大きな川に、水が集まってくる範囲のことです。

水は、高い場所から低い場所へ流れます。そのため、水が集まる「流域」の範囲は、山の尾根などの地形で決まります。

くわえて、雨水が流れている水路や下水道などがどの川へ繋がっているかによって、水の集まる範囲が決まります。

土岐川・庄内川流域の範囲



山の位置などで流域の範囲が決まるんだ！





と き が わ し ょ う な い じ ょ う り ゅ う い き と く ち ょ う
(3) 土岐川・庄内上流域の特徴

と き が わ し ょ う な い が わ じ ょ う り ゅ う い き け い こ く な が ち ゅ う り ゅ う い き ぼ ん ち か こ
土岐川・庄内川は、上流域は溪谷を流れ、中流域では盆地に囲まれ
ち け い な が か り ゅ う い き へ い や だ い ち あ い だ ぬ へ い や
た地形を流れ、下流域では平野や台地の間を抜けて平野をゆるやかに流れ
ています。

こ こ で は じ ょ う り ゅ う い き お り が わ と く ち ょ う
ここでは、上流域にある小里川の特徴をみていきましょう。

と く ち ょ う け い こ く な が
特徴① 溪谷を流れている

え な し み ず な み し な が お り が わ け い こ く や ま か わ
恵那市と瑞浪市を流れる小里川は、溪谷（山にはさまれた、川のある
と こ 所）を流れている区間が多くあります。

い ち ぶ だ ん き ゅ う か わ か い だ ん た か ち い き
一部のひらけた段丘（川におかって階段のように高くなっている地域）
じ ゅ う た く し ょ う て ん ゆ う び ん き ゅ く し せ つ が っ こ う お お ひ と す
では、住宅・商店・郵便局などの施設・学校などがあり、多くの人
が住んでいますが、そこも周囲は山に囲まれています。

や ま な が か わ み ず け い こ く あ つ お り が わ き ゅ う げ き
山から流れてくる川の水は、溪谷に集まってくるので、小里川は急激に
す い い た か
水位が高くなることがあります。

ま た し ゅ う へ ん や ま ど し ゃ さ い が い お か の う せ い か わ す こ は な
また、周辺の山では、土砂災害が起きる可能性もあり、川から少し離れた
た か と ち ち ゅ う い ひ つ よ う
高い土地であっても注意が必要です。



と く ち ょ う か わ な が は や
特徴② 川の流が速い

け い こ く な が く か ん か わ ば き ゅ う な が は や
溪谷を流れる区間は、川幅がせまく、急なため、流れがとても速くなり
ます。

お お あ め す い い た か か わ ぞ い ど う ろ か わ み わ
大雨により、水位が高くなると、川沿いの道路などは川との見分けがつか
なくなり、家も押し流されるような大きな力で、水が流れていきます。

ま た し ゅ う へ ん や ま か わ み ず き ど し ゃ い っ し ょ な が
また、周辺の山が、川の水でけずられたりして、木や土砂と一緒に流れ、
それらがたまったり、ぶつかったりすることで、大きな被害をだすことがあ
ります。



とくちやう おりがわ
特徴③ 小里川ダムがある

おりがわ
小里川ダムには3つの役割があります。

こうずい
①洪水からくらしをまもる

おおあめ ふ おりがわ すい きゆうげき あ たいりやう みず なが
大雨が降ったときに、小里川の水位が急激に上がって、大量の水が流
れるのをふせぐため、川の水の一部をためて、安全な量だけ流します。
この役割を「洪水調節」とよびます。

こうずいちやうせつ じゆんじよ
【洪水調節の順序】

1 あめ ふ
雨の降りはじめ

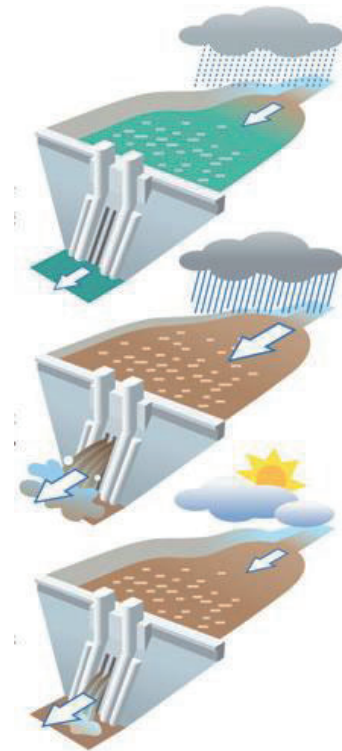
でんき つく みず りやう こ ていど みず
電気を作ったり水を利用するために、ダム湖にはある程度の水
がたまっています。
ダムに入ってくる水の量が変らないうちは、ふだんと同じ
量の水を下流へ流しています。

2 おおあめ
大雨になったら

おおあめ なが こ みず いちぶ いちじてき こ あんぜん
大雨で流れ込む水の一部を、一時的にダム湖にため、安全な
水の量だけを下流へ流します。

3 あめ
雨がやんだら

こ みず すこ かりゆう なが おおあめ
ダム湖にたまった水を少しずつ下流へ流し、また、いつ大雨
が降ってもよいように、水位を下げおきます。



でんき つく
②電気を作る

みず ちから さいだいしゆつりよく キロワット いっぱん かてい やく せたいぶん
水の力で、最大出力1,800kW（一般の家庭で約600世帯分の
電力）を作っています。

げんき かわ つく
③いつも元気な川を作る

かわ みず すく い もの
川の水が少なくなると生き物がくらしにくくなってしまいます。その
ため、川の水がたえないように、ダムの水を利用してあります。



さんこう・しゆつてん おりがわ しやうかい
参考・出典 小里川ダム紹介ムービーもあります)
<https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/origawa/index.php>

2 すいがい じ きけん
水害時における危険



じやうりゆういき おりがわ けいこく かわ なが みず あつ
上流域の小里川は、溪谷を川が流れていて、水が集まりや
すい川なんだね。ダムができる前は、この地域ではどんな
水害があったのかな？

しやうわ ねん がつごう
(1) 昭和47年7月豪雨ではどんなことがあった？

しやうわ ねん がつ にち にち きゆうしゆう どうほく かくち おおあめ
昭和47年7月3日から13日にかけて、九州から東北の各地で、大雨によ
り、土砂災害や川があふれるなどして、大きな被害が発生しました。
とうのうちほう あげちやう げんざい え な し あげちやう みずなみし どうのうちほう
東濃地方の明智町（現在の恵那市明智町）や瑞浪市（東濃地方）では、12
日の夜から13日朝にかけて強い雨が降り、多数の尊い命が奪われまし
た。



しやうわ ねん がつごう きんかん こらうりやう
昭和47年7月豪雨の期間にふった降雨量
出典：気象庁 災害をもたらした気象事例)

かんが
考えてみよう



しやうわ ねん がつごう しりやう
昭和47年7月豪雨のときの資料をみて、どんなことが
起きたのか、どんなことに困ったか・大変だったかを考
えてみよう。

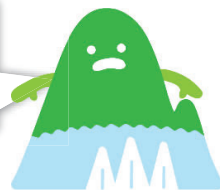
れい
(例をみる⇒P38へ)



みづなみしすえちやうみづかみ ひがい ようま
瑞浪市陶町水上の被害の様子

(出典:災害アーカイブぎふ 岐阜県防災課所蔵)

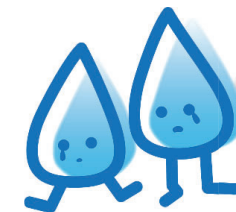
たくさんの木が流されてきているね



みづなみしすえちやうみづかみ ひがい ようま
瑞浪市陶町大川の被害の様子

(出典:災害アーカイブぎふ 岐阜県防災課所蔵)

すいがい いえ
水害で家もこわれさせてしまったんだね





(上)瑞浪市陶町大川、(下)瑞浪市陶町水上の被害の様子

(出典:災害アーカイブぎふ 岐阜県防災課所蔵)

(上)瑞浪市陶町大川、(下)瑞浪市陶町水上の被害の様子

(出典:災害アーカイブぎふ 岐阜県防災課所蔵)



かわぎし どうろ
川岸や道路がけずられてしまったところもあるんだね



やま くず
山が崩れたり、車や家が土砂で
うまってしまったりするんだね

もっと知ろう



大雨ってどんなとき？

台風が近づいているときなど、テレビなどで「明日は猛烈な雨になるおそれがあります。できるだけ外出はひかえましょう。」というアナウンスを聞いたことはありませんか。

テレビなどでの雨の表し方は、下の表の通りに決まっています。

例えば、「1時間雨量20mmの雨」とは、「降った雨がそのままどまった場合、1時間で20mmの深さまで雨がたまること」を示します。50mmをこえるとひじょうに危険です。

1時間雨量 (mm)	予報用語 (大のうけるイメージ)	人への影響	屋内	屋外	車に乗っていると
10~20	やや強い雨 (ザーザーとふる)	地面からはね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声がよく聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20~30	強い雨 (どしゃぶり)	かさをさしていてもぬれる			ワイパーをはやく動かしても見づらい
30~50	はげしい雨 (バケツをひっくりかえしたようにふる)		寝ている人のおよそ半数が雨に気づく	道路が川のようになる	スピードをあげているとブレーキがかかりにくい
50~80	ひじょうに はげしい雨 (滝のようにふる)	かさがまったく役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80~	もうれつな雨 (息苦しさ、恐怖を感じる)				

出典：雨の強さと降り方/気象庁ホームページを参考に作成

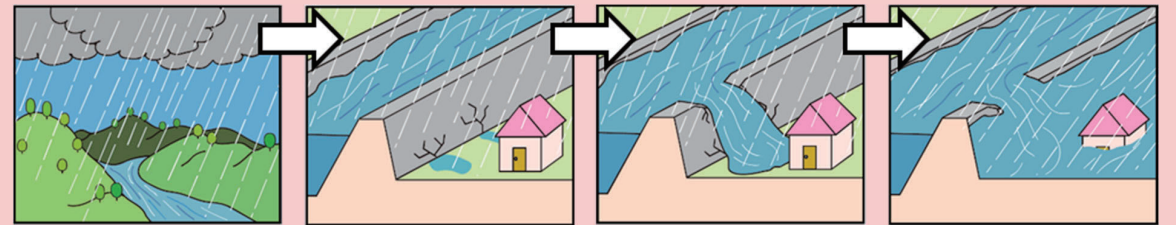


もっと知ろう

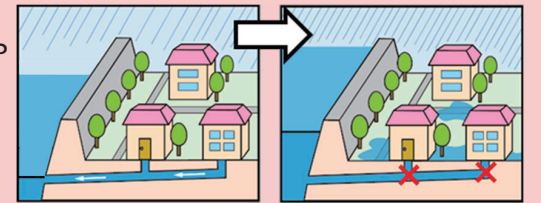


水害はどうやっておこるの？

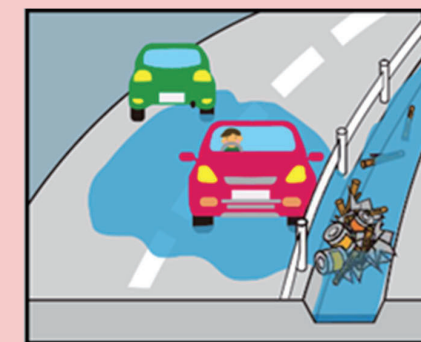
川を流れる水の量が多くなると、堤防から水があふれてきたり、堤防がこわれてまちに水が流れてきます。これを「外水はんらん」といいます。



ふだんは、街中に降った雨は、水路や下水道などを通して川に排水されます。しかし、大雨が降ると川の水の量がふえ、川の水位が高くなって、街中の水が排水できなくなってあふれてしまうことがあります。これを「内水はんらん」といいます。



「内水はんらん」は、川とは関係ない場所でも、排水溝にゴミがたまって水が流れなくなってしまい道路に水があふれるなどしておこることもあります。道路や鉄道の高架下など、道路が低くなっているところに雨水がたまることもあります。





(2) この地域ではどんな水害に気を付けたらいいの？

かんが 考えてみよう



水害は種類がいくつかあります。それぞれの危険な場面の例をみて、どんな危険があるか、どんな違いがあるか考えてみましょう。

(例をみる⇒P38へ)



内水はんらん

町中では、ふだんの雨で道路や街中に水がたまらないように、「道路の側溝などに早く雨水を流し、川へ排水する仕組み」があります。しかし、側溝に流せる水の量をこえるとあふれてしまい、内水はんらんがおきてしまいます。



低い道路が浸水し、車が水没した様子
出典：国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所 X (旧 twitter)



地下鉄駅への階段で勢いよく水が流れこむ様子
出典：福岡水害(H11.6.29)/九州地方整備局
(https://www.qsr.mlit.go.jp/bousai/index_c17.html)



内水はんらんでも、車が水没したりするんだね・・・
水がながれこむ階段はとても危ないよ！



外水はんらん

川で流すことができる量を超えて雨が降ったときに、川の水が堤防を越えたり堤防が決壊したりして、堤防から水があふれだすことを外水はんらんと言います。

小里川のように、ダムがある場合は、ある程度の大雨は洪水調節によって、ダムの下流でははんらんがおきることはありません。

しかし、それ以上の大雨が降った場合、ダムで貯められる分は決まっているので、貯められなかった分は下流へそのまま流れていきます。その結果、小里川から水があふれることがあります。



平成12年東海豪雨での新川決壊の様子



新川の決壊によりこわれた家
出典：新川破堤の復旧作業/愛知県河川課



内水はんらんの後に続けて、外水はんらんがおきることもあるよ！下流域で雨が降ってなくても、「流域」の中で大雨が降っていると、下流で外水はんらんがおきることもあるよ！



どしゃさいがい
土砂災害

おおあめ じめん みず たいりょう どしゃ ひと
大雨などで地面に水がたまって、くずれ、大量の土砂が人
す ばしょ をおそい、いえ どうろ せつつ はかい ど
が住む場所をおそい、家や道路などの施設を破壊するのが土
しゃさいがい
砂災害です。

どしゃ なが ちから ちから おお はや
土砂の流れる力はとても大きく、ものすごい速さでやって
くるため、はっせい 発生してから走って逃げるのは困難で、多くの命
が犠牲になる場合が多い災害です。



土砂災害によってこわれた家

出典：令和5年台風第2号による土砂災害発生状況/国土交通省

もっと知ろう



どしゃさいがい いのち まも ほうほう
土砂災害から命を守る方法

どしゃさいがい おも くず じ どせきりゅう
土砂災害には、主に、がけ崩れ、地すべり、土石流
の3種類あります。

どしゃさいがい いのち まも まえ どしゃさいがい
土砂災害から命を守るには、前もって、土砂災害がお
きる可能性のあるところを知り、どこに避難したらよい
かをしてしておくことが大切です。

参考：内閣府防災公式チャンネル
<https://www.youtube.com/watch?v=T03pHCj4ags>



3 すいがいじ こうどう
水害時にわたしたちがとるべき行動

(1) すいがい み まわ へんか
水害がおこるまでの身の周りの変化

おおあめ ないすい どうげこう
大雨によっておきる「内水はんらん」は、みなさんが登下校するときや、
いえ 留守番 しているとき、いえ がっこうい しているときに発生するかも
しれません。

また、「外水はんらん」は、大雨が何時間も続くような場合に、「内水はん
らん」の後に続けて発生する場合があります。

まん いち み きけん
万が一のときにそなえて、わたしたちの身に危険があるときにすべきこと
かんが
を考えてみましょう。

かんが
考えてみよう



あめ ふ まわ へんか
雨が降ったとき、周りのようすはどのように変化するで
しょうか。そして、わたしたちにどのような影響があるで
しょうか。

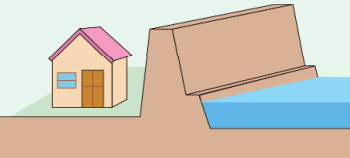
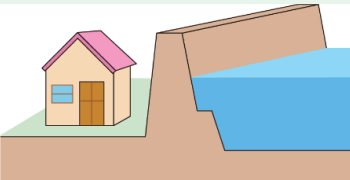


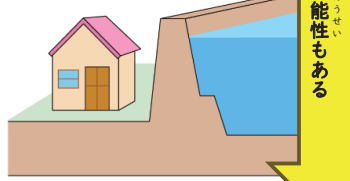


つき こうどう かんが
次のページをみて、わたしたちがとるべき行動を考えて
みましょう。

【こんなとき、どうしたらよいか？】

おうちのひと とも 話しあって、一人でのことを決めておきましょう。





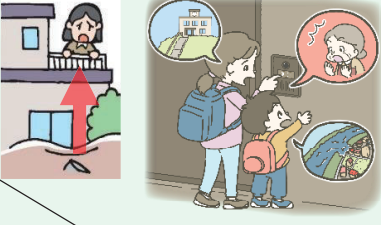





- いえ 家にいるときに、「はげしい雨」が降ってきた
- ともだち いえ なら ごと いえいがい 友達の家や習い事など、家以外で、「はげしい雨」が降ってきた
- そと 外にいるとき、いつも通っている道に、水がたまっていた

(例をみる⇒P39へ)

雨のようす	川のようす	周りのようす
—	ふだんのようす 	—
ザーザーと降る、 <u>やや強い雨</u>	ふだんより水の量が ふえる 	水たまりができる 
どしゃぶりの <u>強い雨</u>	ながびくと ダムで貯められないほどの雨では、 短時間で 外水ははんらんをおこす可能性もある	道路が川のようになる 低いところで水がたまる 低いところは家の中に 水が入ってくる (内水はんらん) 
バケツをひっくりかえ したように降る、 <u>はげしい雨</u>	水面が堤防の天端 に近づく 	あふれる 家がこわれる こともある まちが浸水する 
滝のように降る、 <u>ひじょうにはげしい雨</u>	水しぶきであたり一面 が白っぽくなり、 周りがよく見えなくな るような、 <u>もうれつな雨</u>	外水はんらん がおきると 

出典：雨の強さと降り方/気象庁ホームページを参考に作成



わたしたちへの影響	とるべき行動
—	避難の準備をしておく 
外を歩くのがたいへん 	おうちのひと 今後の雨のようすについて 調べる 
足元が見えない 	危険な所にいるときは、 早めに安全なところへ いっしょに移動(避難) 
げんかんが浸水 	安全なところで、 今後の雨や川のようす について調べる 
マンホールや水路に はまって、おぼれたり 流されたりする 	—
ドアがあかず、 外に出られない 	—
今いるところから動けない 	—

(2) おうちの人と調べてみよう

自然災害が発生したときに、どこでどのような被害がおこるかを予測して、地図上に危険な地域や避難場所などを示したものを「ハザードマップ」といいます。自然災害は、地震、津波、高潮、土砂災害、水害（内水はんらん・外水はんらん）などさまざまですが、それぞれの災害についてハザードマップが多くの自治体で作られています。

※ハザードマップは自宅に市町村から配布されることが多いですが、ハザードマップポータルサイトから確認することもできます。



※「ぎふ山と川の危険箇所マップ」では、岐阜県内の様々な災害について、最新の情報をまとめて表示して、確認することができます。



ぎふ山と川の危険箇所マップ
https://kikenmap.gifugis.jp/



かんが 考えてみよう



地域の内水・洪水ハザードマップを見ながら、身の周りの危険な場所を確認しましょう。
※洪水ハザードマップは、外水はんらんを想定したマップです。

【ハザードマップでの確認手順】

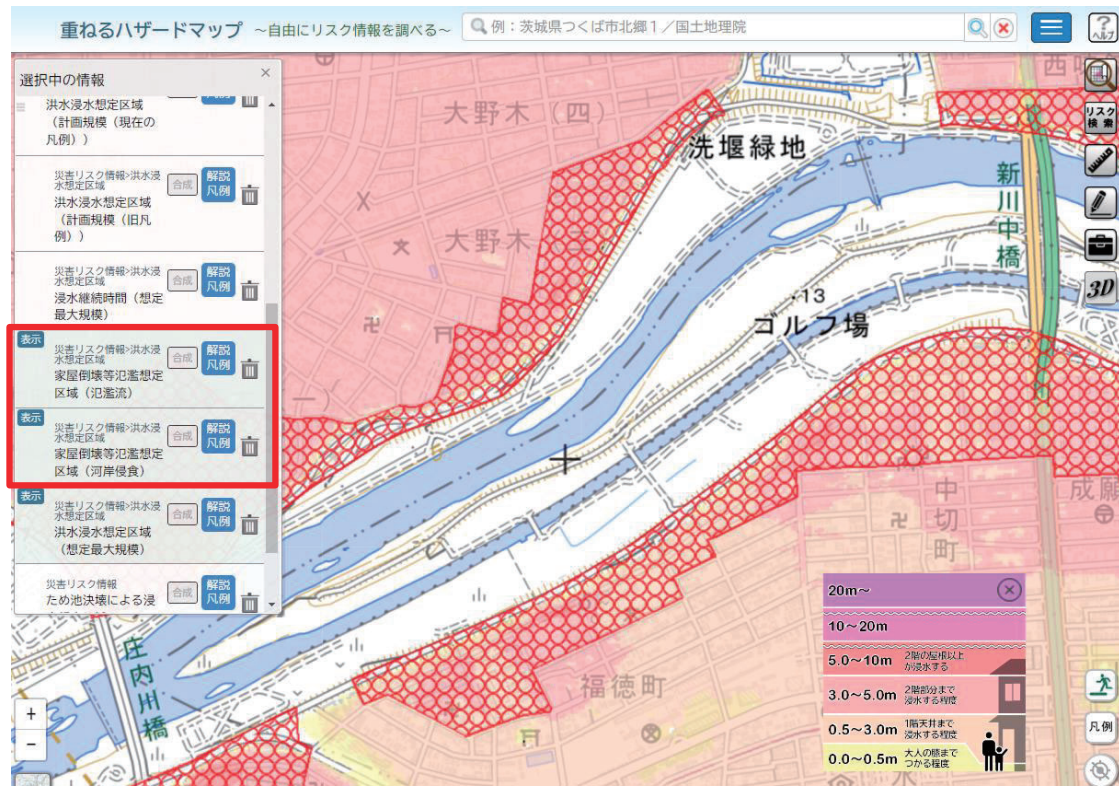
- ① 学校・自宅・よく行く場所（習いごと、近くの親戚の家、よく遊びに行くところなど）に印をつけましょう。
- ② ①で印をつけたところは、水害によって建物がたおれるおそれがある地域（家屋倒壊等氾濫想定区域）に入っていますか？

種類	はんらんりゅう 氾濫流	かかんしんしょく 河岸浸食
説明	川からあふれた水のいきおいで、建物が流されるおそれがある場所	建物の土台部分がけずられて、建物がたおれるおそれがある場所
しるし	重ねるハザードマップでの表示	
	瑞浪市洪水ハザードマップでの表示	
例	 平成30年（2018年）7月豪雨 愛媛県大洲市東大洲	 平成24年（2012年）7月豪雨 大分県日田市三和地区

出典：国土交通省 四国地方整備局

出典：平成24年7月3日からの梅雨前線豪雨による被害と九州地方整備局の対応/国土交通省

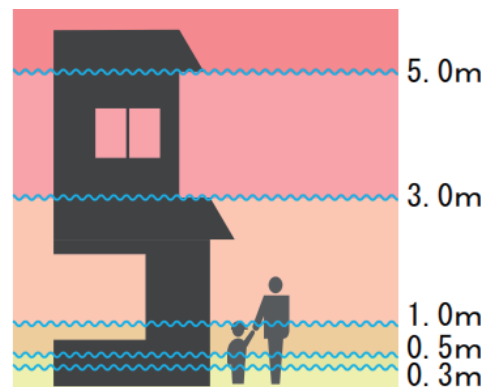
※山際の場合は、土砂災害ハザードマップや、「愛知県土砂災害情報マップ（参考PI9）」、「ぎふ山と川の危険箇所マップ」も確認しましょう。危険な区域内では、土砂災害で家がこわれる可能性が高いです。市町村の洪水ハザードマップに、記載がない場合は、重ねるハザードマップでも確認してみましょう。



出典：「ハザードマップポータルサイト」を編集

③ ①で印をつけたところは、水につかりますか？どのくらいの高さまでつかりますか？

※市町村によって、洪水ハザードマップの浸水する深さを示す色や高さが違います。それぞれのハザードマップの説明をよくみて確認しましょう。

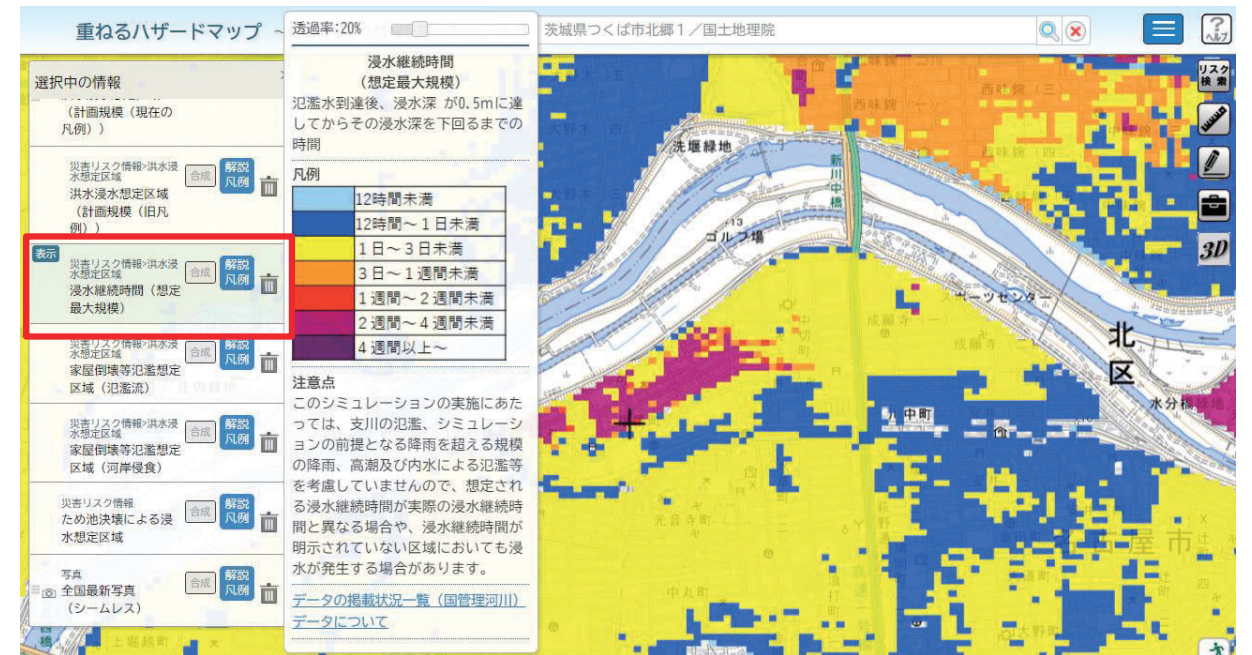


例) 瑞浪市の洪水ハザードマップの色の示し方
出典) 瑞浪市ハザードマップの手引き



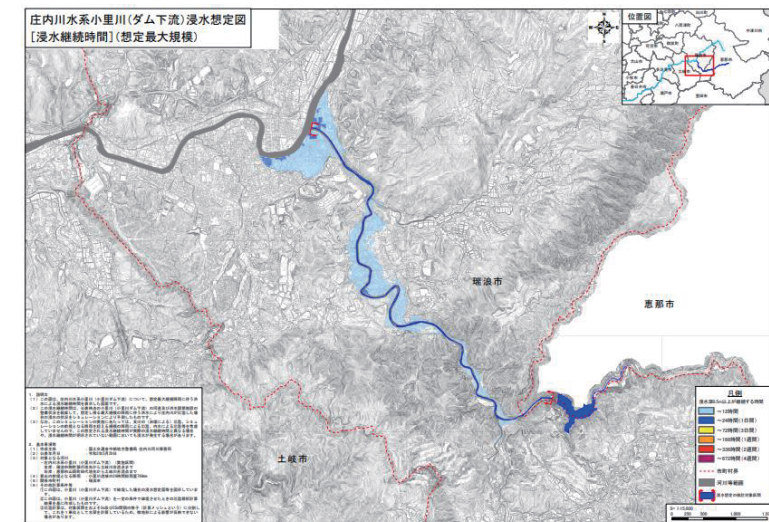
④ ①で印をつけたところは、どのくらいの期間浸水しますか（浸水継続時間の図で確認しましょう）？

※市町村の洪水ハザードマップに、記載がない場合は、重ねるハザードマップでも確認してみましょう



出典：「ハザードマップポータルサイト」を編集

※小里川（ダム下流）の浸水継続時間図は、小里川ダム管理支所のwebサイト内で確認できます。



小里川（ダム下流）浸水想定図
<https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/origawa/know/orishinsou/index.html>



⑤ ②から④までの結果をみて、①の場所は、大雨のときにとどまっても（あとに外水はらんがおきても）安全な場所か確認しましょう。

※たてものがこわれる可能性があるところや、長い期間浸水する可能性があるところでも、学校のように大きく頑丈な建物や、数日間すごせる備蓄品（水・食料や毛布など）が準備されているところは、大丈夫なところもあります。各災害の避難場所に指定されている場合は、無理に移動しないほうが安全です。

⑥ ④で、危険な場所である場合は、避難先として安全な場所をさがしましょう。

例：瑞浪市の避難所・避難場所のマークと意味



【指定避難所】

瑞浪市では、一定期間滞在・避難生活をおくる施設として、コミュニティセンターや学校などの公共施設を指定しています。



【指定緊急避難場所】

瑞浪市では、災害から緊急的に避難する場所として、学校のグラウンドや公園などの屋外の公共施設を指定しています。（雨風をしのげないところもあります）

※自治体によって異なるマークを使用している場合があります。

ハザードマップの凡例をよく確認しましょう。

考えてみよう



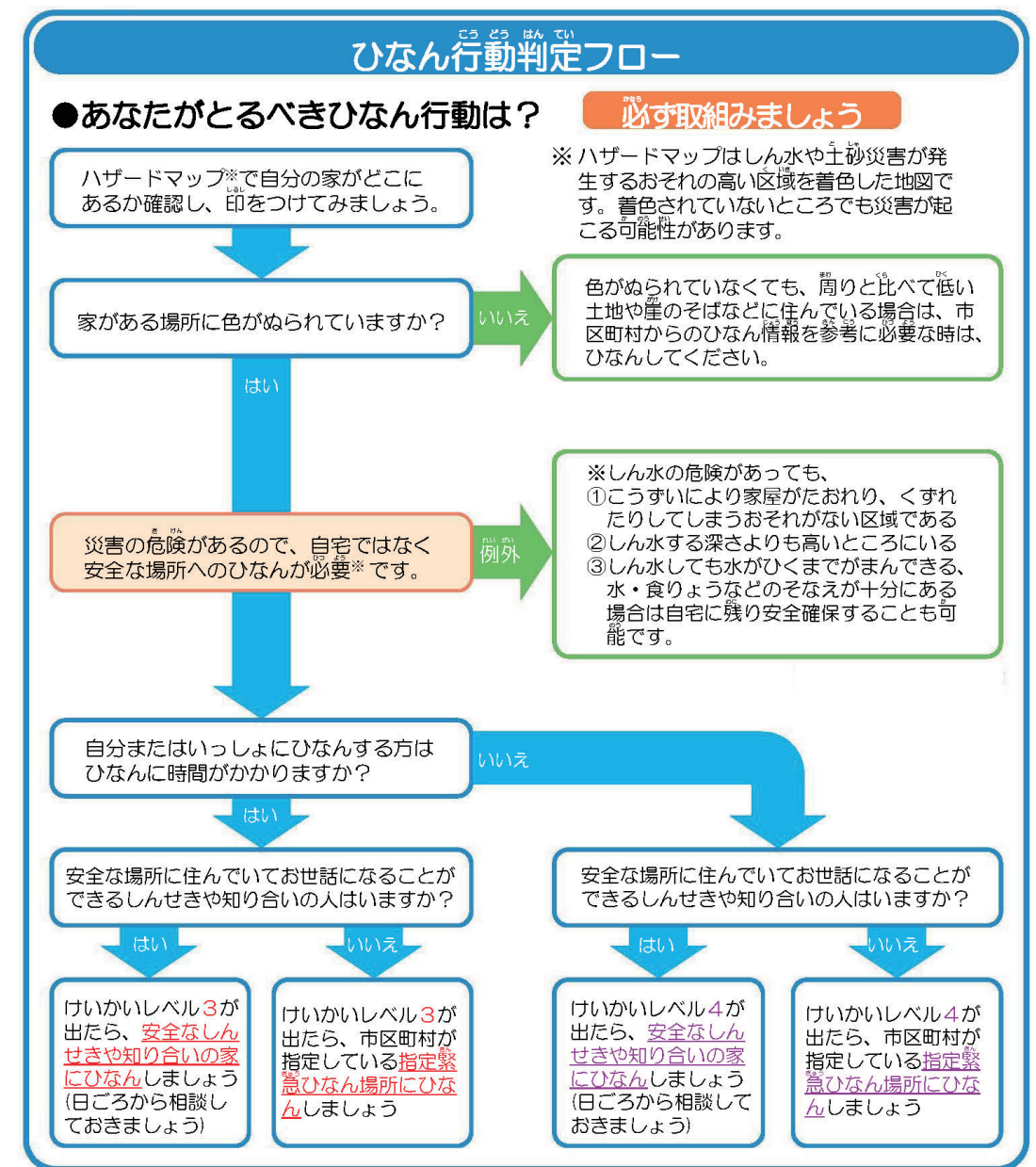
大きな災害のときほど、多くの方が避難場所に逃げてきます。すると、避難場所が満員になってしまい、遠くへ移動することができない人達（移動手段がないなど）が避難することができなくなってしまいます。

みんなが安全を確保するには、どうしたらよいでしょう？



※地域に「避難」の情報がでていても、安全な地域にいるときや、高いところへ移動すれば安全な場合は、無理に避難場所に移動する必要はありません。移動途中で、流されたりケガをしたりする危険性もあります。

※ハザードマップにのっている避難場所だけが避難先ではありません。早い段階（道路が浸水していない、雨風が危険ではない時点）で移動できる場合は、他の安全な地域の親戚などの家やホテルなどに身を寄せることも考えましょう。



避難行動判定フロー

出典：内閣府 「避難行動判定フロー」を確認しましょう

(https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline)

もっと知ろう



避難についての情報

災害がおこりそうなとき、市町村長は、地域ごとに「避難情報」を発令します。意味や危険のレベルを知っておいて、避難の目安にしましょう。

警戒 レベル3	高齢者等 避難	「災害がおきるので逃げる準備をしてください」という知らせです。 お年寄りや子ども、逃げるのに時間がかかる人は逃げてください。
警戒 レベル4	避難指示	「大きい災害でとても危ないです。すぐ逃げてください」という知らせです。みんな、安全な場所にすぐ逃げてください。
警戒 レベル5	緊急安全確保	「近くで災害がおきています」という知らせです。 命を守ってください。あなたの家や、近くの家の高い部屋などに逃げてください。外に出ると危ない時は家の中にいてください。

警戒レベルの意味 例：名古屋市防災ガイドライン

マイ・タイムラインを作ろう

どんな状況になったら避難行動をするか決めておけば、いざ危険な状態になったときにも、あわてずにすみませす。おうちの人と、どんなときにどんな行動をするか、いっしょに考えておき、常に早めの避難をこころがけましょう。



参考：岐阜県 災害・避難カード
<https://bousai.pref.gifu.lg.jp/>



参考：逃げキッド (全国で利用できるようなつくれた資料です)
http://www.river.or.jp/jigyo/my-timeline_download.html



もっと知ろう



ダムのようにインターネットで見よう

大雨が降っているときや、ダムが放流するときには、川の近くへ行くことはとても危険です。

ダムの放流のようすや、ダム湖がどのくらいの水位になっているかは、インターネットで見ることが出来ます。

小里川のようにもあわせてみる事ができるので、小里川がいつもと違うようすになっていないか、自分たちでも情報を集めて、家族や地域の方と、早めに避難することが大切です。



小里川ダム管理支所 web サイト
<https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/origawa/index.php>

国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所
小里川ダム管理支所

令和6年3月 小里川ダム完成20周年

現在、緊急情報はありませぬ。

災害関係記者発表
現在、災害関係記者発表はありませぬ。

2023-06-02 00:00

現在の貯水量や放流量等をご覧いただけます
>小里川ダムのリアルタイム情報はこちら <-> くわしくは、次のページへ

ライブカメラ
-> ダムからの放流のようすや川のようすをライブカメラで見ることが出来ます

ダム直下 馬道ヶ峰 井口 合流点

もっと知ろう

【小里川ダムのリアルタイム情報を見る】



【小里川の水位を見る】



川の水位情報
<https://k.river.go.jp/>



4 みんなで取り組む水害へのそなえ

(1) みんなで取り組む「流域治水」

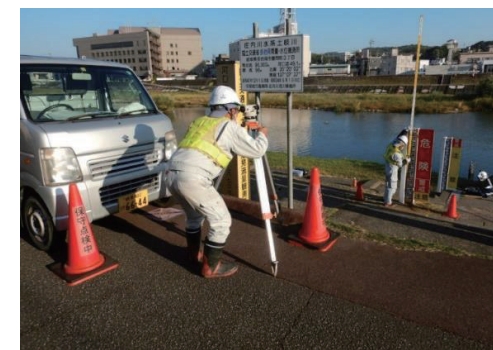
ハザードマップをみると、土岐川・庄内川で外水はんらんがおきると、とても広い地域が浸水してしまうんだね。被害をおさえるために、どんな取組がされているのかな？



外水はんらんがなるべくおきないようにする取組(治水対策といいます)は、これまでは、川を管理する人たちが、川やダムなどの整備をしたり、川の管理をすることが中心でした。川の工事によって、東海豪雨の前よりは安全になりました。しかし、まだまだ川の整備は必要です。



堤防の工事 (堤防の高さや幅が不足していた箇所を整備)



川の状況を調査(測量)



川の中の土砂をとる工事

4 みんなで取り組む水害へのそなえ

また、大雨のときや水害がおきそうな時には、川を管理・監視する人たち、あふれないように対策する人たち、天気を予想する人たち、避難情報を発令する人たち、情報を伝える人たち、地域の人の避難を手助けする人たちなど、さまざまな人が関わって、被害をおさえたり、命を守るための取組をしています。



川のパトロール (川を管理・監視する人たち)



水防活動 (あふれないように対策する人たち)



ダムの管理や操作 (川を管理・監視する人たち)



情報を伝える・地域の人の避難を手助けする人たち (自主防災組織)
出典：あいちの自主防災組織「大治町明治町自主防災会」/愛知県

万が一、水害が発生してしまったときには、救助をしたり、まちに入った水を早く排出したり、川や道路をなおしたり、被害をうけた人たちが早く元の生活にもどれるように、たくさんの人たちが、地域のために活動します。



排水作業

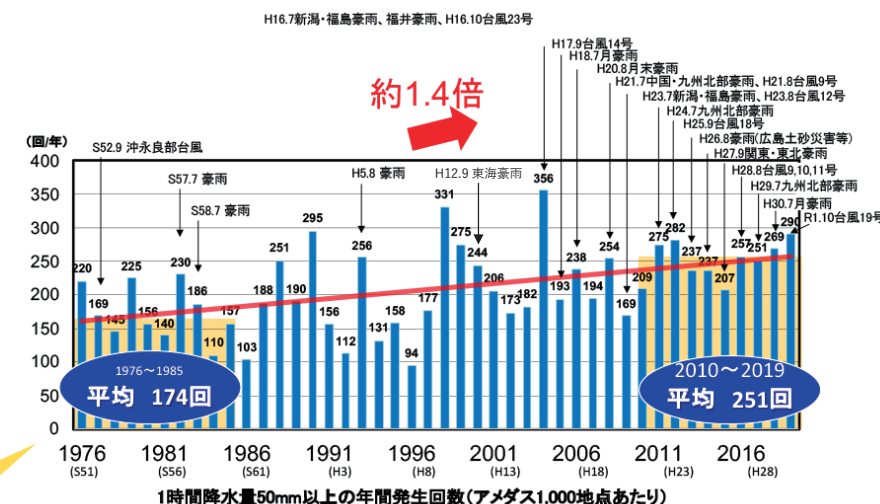


救助や片付けなどの支援活動

4 みんなで取り組む水害へのそなえ



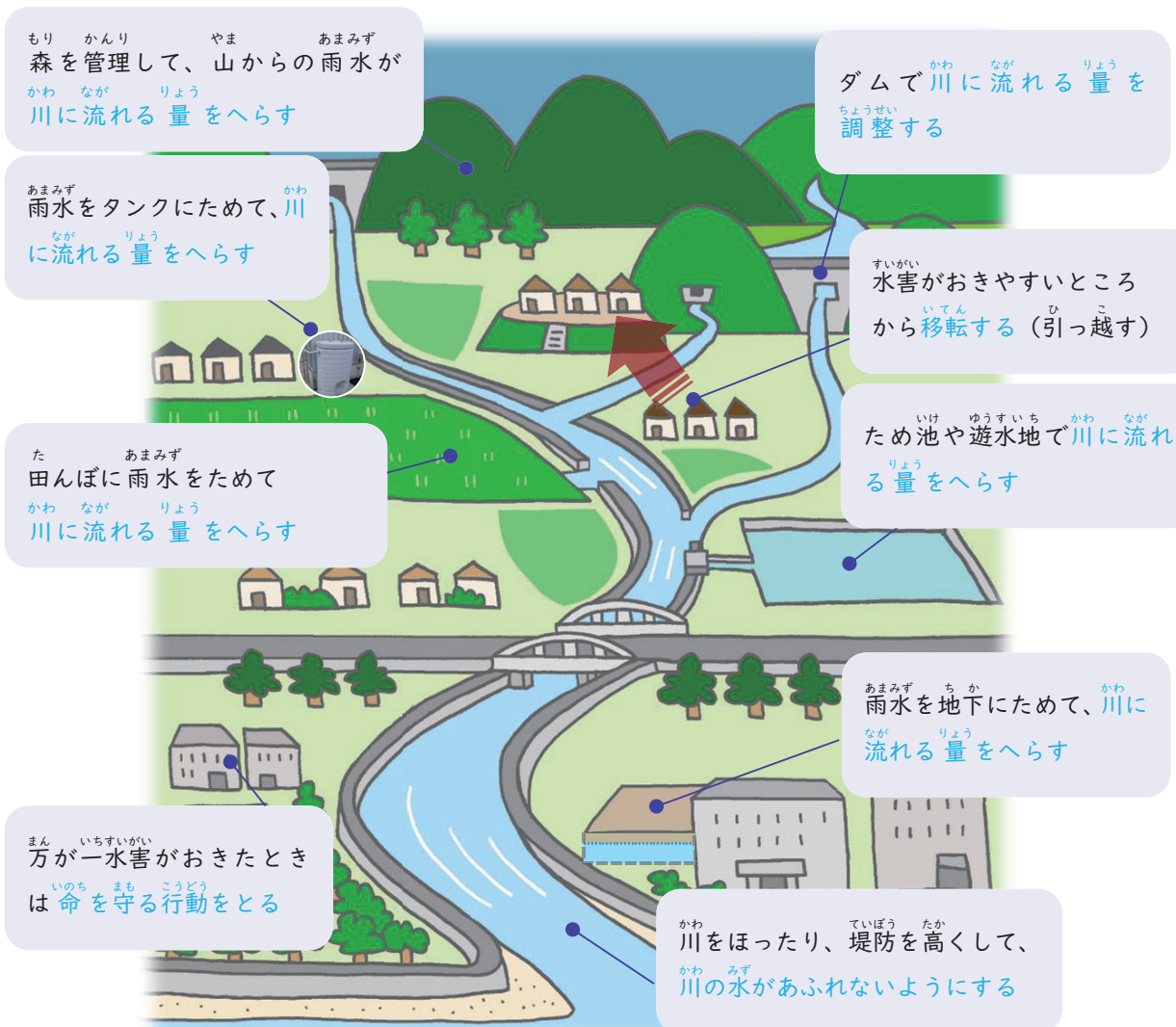
その一方で、最近の雨はひじょうにはげしく、これまでどおり施設だけの取組では、被害が防げません。

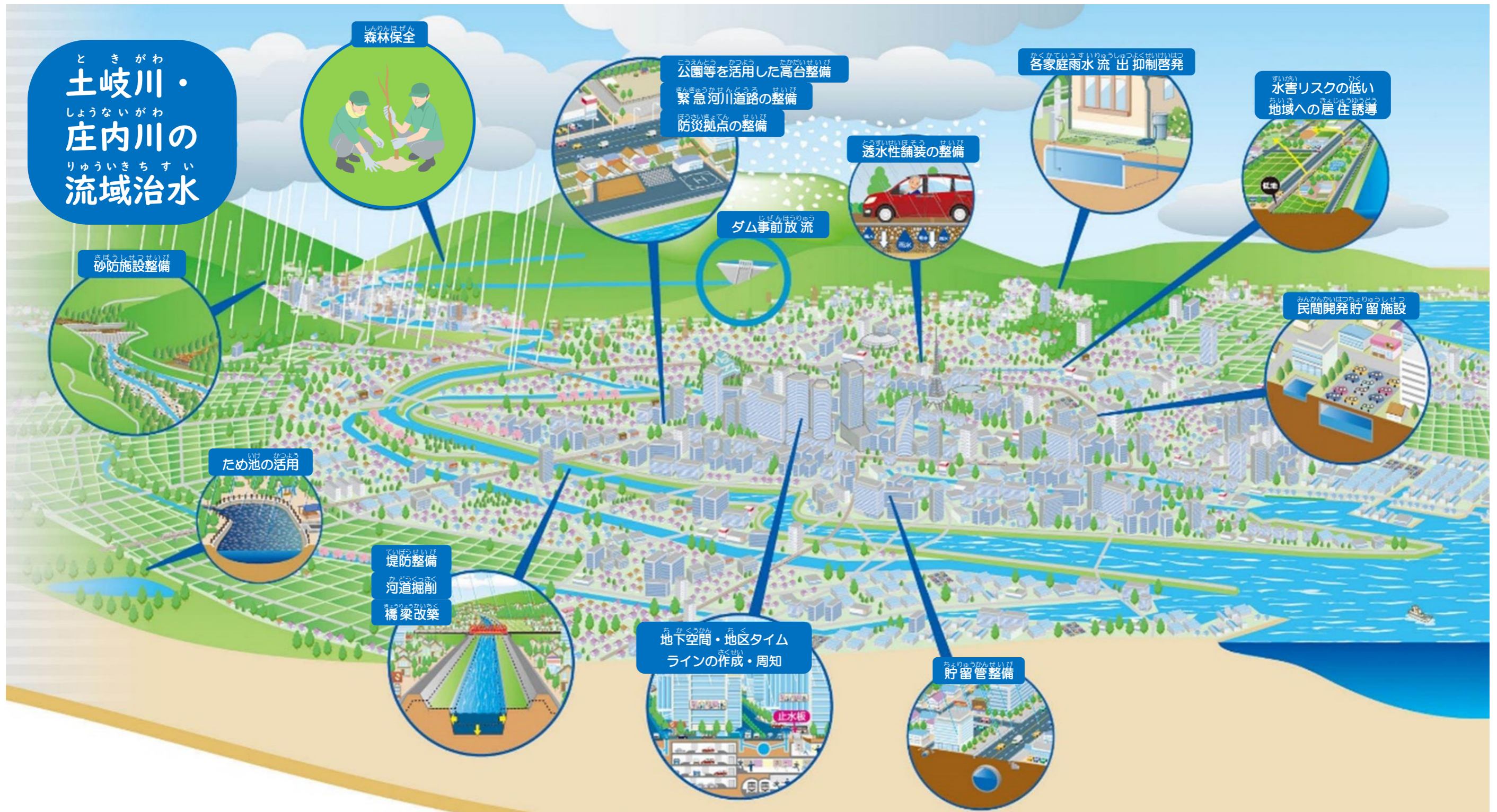


「ひじょうにはげしい雨」の回数が、昔よりもふえている!

出典：カワナビ/国土交通省 (気象庁資料より作成)
(https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/prepare/vol1_1.html)

「流域」にいるみんながいっしょになって、水害にそなえる・水害をへらす取組が必要なのです。この取組を「流域治水」といいます。





もっと知ろう

流域治水カード

土岐川・庄内川流域のさまざまな流域治水の取組を紹介したカードを、市町村役場や事務所、広報施設などで配布しています。どんな取組があるのか調べてみましょう。

流域治水カードについて：
https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuiki_chisui_kyougikai/index.html

考えてみよう

わたしたちが、家や学校でできる流域治水の取組は何かあるでしょうか？

ヒントは、「ふだん、水を多く使うこと」「水害へのそなえ」「(タンクなど)で雨を貯める」です。

(例をみる⇒P39へ)



(2) 地域の人との助け合い

ふだんから、地域の人たちのために、防災についての情報を伝えたり、訓練をしたり、準備をしている人たちがいます。地域の訓練に参加したり、おうちの人とハザードマップで確認したり、そなえをしたりする活動は、わたしたちができる「流域治水」の取組の1つです。

また、大雨のときには、さまざまな情報をだしたり、知らせたりする人たちがいます。それらの情報を自分たちで集めにいたり、確認したりして、それぞれが「自分の命を守る行動」をとることも、「流域治水」の取組の1つです。



また、早めに避難行動をとることは、地域で避難の支援活動をしている人たちに協力することにつながります。

高齢者や小さい子どもや赤ちゃんなど、一人で避難することがむずかしい人がいたら、周りの人といっしょに手助けしたり、そのような人たちが近くの避難場所で安全を確保するために、移動がしやすい人は少し離れたところで安全を確保するなど、地域の人たちのことを考えることも大切です。

みなさんが将来、どのような地域に住むことになっても、この本で学んだことは、自分や大切な人たちの命を守ることになり、長く住み続けられる地域を作ることにつながります。できるところから、流域治水をはじめていきましょう。

かんが 考えてみよう の例 れい



ここでは、「考えてみよう」の例を紹介します。

これだけが正解ということではありません。いろいろなことを想像することが、流域治水の取組を広げることにつながります。

PI0 昭和47年7月豪雨のときの資料をみて、どんなことが起きたのか、どんなことに困ったか・大変だったかを考えてみよう。

- 木が流れてきて町がぐちゃぐちゃになった
- 家がこわされて、バラバラになった
- 川岸が水の力でけずられた
- 土砂災害がおこった

PI7 水害は種類がいくつかあります。それぞれの危険な場面の例をみて、どんな危険があるか、どんな違いがあるか考えてみましょう。

- (内水はんらん) 道路の低いところに車が入ってしまい、おぼれる
- (内水はんらん) 水路や足元がみえずに、ころんだり流されたりする
- (外水はんらん) 家がこわれる
- (土砂災害) 家がこわれる、すごいスピードでおそってくる



と き が わ し ょ う ない が わ り ゆ う い き ち す い き ょ う ぎ かい
土岐川・庄内川流域治水協議会

こ く ど こ う つ う し ょ う ち ゅ う ぶ ち ほ う せ い び き よ く し ょ う ない が わ か せ ん じ む し ょ
国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所